

各 位

上場会社名 株式会社 植木組
 代表者 代表取締役社長 植木 義明
 (コード番号 1867 東証スタンダード市場)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員管理統括部長 水島 和憲
 (TEL. 0257-23-0660)

業績予想の修正並びに剰余金の配当に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年11月11日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正内容

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	1,500	1,500	950	143.55
今回修正予想(B)	49,000	2,000	2,100	1,300	197.31
増減額(B-A)	△1,000	500	600	350	
増減率(%)	△2.0	33.3	40.0	36.8	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	47,678	2,293	2,375	1,440	217.70

2023年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,200	1,400	900	136.00
今回修正予想(B)	43,000	1,800	1,200	182.12
増減額(B-A)	△1,200	400	300	
増減率(%)	△2.7	28.6	33.3	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	41,175	1,954	1,220	184.40

修正の理由

当社グループの核となる建設事業において、一部手持工事の進捗率が予想を下回った為、売上高は前回予想を下回る見込みであります。損益面につきましては、建設資材の高騰等による建設コストの上昇が収益を圧迫し続けることが予想された為、第2四半期での通期業績予想を厳しく見積りました。その後、建設資材等の高騰もやや落ち着きを見せたこと、併せて適正な人員配置やICT技術等の活用を持続的に図ることで現場力が高まり、工事利益率が改善された為、営業利益、経常利益、当期純利益は、前回予想を上回り、当初業績予想に近づく見込みであります。

※本資料の業績予想等は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 剰余金の配当に関するお知らせ

(1)配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2022年5月12日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2023年3月31日	同左	2022年3月31日
1株当たり配当金	55円00銭	55円00銭	55円00銭
配当金総額	356百万円	—	363百万円
効力発生日	2023年6月9日	—	2022年6月10日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注) 当社は、会社法第459条第1項に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行うことができる旨を定款に定めております。

(2)理由

当社は、2022年度を初年度とする3か年の中期経営計画において、株主の皆様に対する配当政策を重要な経営課題の一つと位置づけ、企業基盤の強化と将来的な事業展開、連結業績等を勘案しながら、従来に増して配当性向を意識し、利益配分を行うことを基本方針といたしました。

上記の方針に基づき、当期の配当金については、当初予想通り1株当たり55円とさせていただくことといたしました。

以 上